

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	CIE Oxford (St Hilda's College)	参加 プログラム名	セントヒルダプログラム	国名	UK
氏名		学籍番号		学科	国際関係学科
参加時の 学年	4年	参加費用 (日本円での概算)	80万円(お土産代を除く)		
参加日程	2025 年 8 月 18 日 ~ 2025 年 8 月 31 日 (2 週間)	記入年月日	2025 年 9 月 5 日		

① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

・英語力の向上

建築・文学・教育・歴史など様々なテーマを英語「で」学ぶテーマ授業や英語でのプレゼンテーションにおいて英語で物事を考え、その考えを英語で表現する力を強化するだけでなく、週2回の放課後のアクティビティにおけるオックスフォード生徒の会話やホームステイにおけるホストファミリーの会話において日常会話の力を向上させること。

・異なる文化にふれ、自分自身の視野を広げること

幅広いテーマに取り組むことにより、イギリスの歴史、宗教、社会、哲学を学びながら、さまざまな事象への新しい視点を養うだけでなく、ともに参加する津田塾生やオックスフォード生との議論やホストファミリーとの会話により、イギリスに関する文化や伝統への理解を深め、多角的な考えを得ること。

② プログラムについて

研修・活動の感想

今回の語学研修は、私にとって非常に有意義で実り多いものでした。

特に印象的だったのは、英語力向上を実感できたことです。授業では建築や文学、歴史、SDGsといった多様なテーマを扱い、教授や学生と英語で議論する機会が数多くありました。最初は自分の意見を英語で表現することに不安を感じていましたが、議論を重ねる中で「正確に話すことよりも、自分の考えを積極的に伝えることが大切だ」という意識に変わり、臆せず発言できるようになりました。

また、学んだ内容を実際に街に出て自分の目で確かめるフィールドワークも大きな学びにつながりました。

さらに、オックスフォードの学生と共同で取り組んだプロジェクトワークを通じて、英語で物事を考える習慣が身につきました。

これらの経験を通して、単に語学力を伸ばすだけでなく、異文化を体験しながら「英語を使って学ぶ力」を培えたことが、研修全体を通じた最大の成果だと感じています。

研修・活動以外の部分についての感想

研修や授業以外の時間も、私にとって非常に価値ある経験となりました。

特に、ホストファミリーとの交流は大きな思い出です。毎日の食事やちょっとした出来事について英語で会話することで、自然な表現や言い回しを学ぶことができました。また、どんなに拙い英語でも真剣に耳を傾けてくれる姿勢に支えられ、自信を持って話すことができるようになりました。

加えて、同じ研修に参加した津田塾大学の仲間と放課後や休日を共に過ごした時間も忘れられません。授業での議論にとどまらず、観光や食事を一緒に楽しむ中で強い絆が生まれ、かけがえのない友人関係を築くことができました。

研修以外の部分で築いた人間関係や生活体験は、語学以上に私の視野を広げ、今後の人生においても大切な財産となるものだと感じています。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません。

現地学生との交流は、今回の研修の大きな魅力であり、学びの深まりを実感した瞬間でもありました。

特に印象に残っているのは、オックスフォード大学の学生と行ったプロジェクトワークです。テーマは「multiculturalism」で、日本とイギリスの多文化社会の在り方について比較・議論を行いました。英語で意見を交わすことは容易ではありませんでしたが、互いに異なる文化的背景を持つからこそ、議論がより深まり、自分の視点が広がったと感じます。また、議論を通じて相手の考え方を尊重し合う姿勢から学ぶことも多くありました。加えて、授業外でも現地学生と交流する機会があり、放課後をともに過ごしたり、大学周辺を案内してもらったりと、フランクな場面で英語を使う経験もできました。

こうした交流を通じて、英語は単なる学習の対象ではなく、人と人をつなぐ大切なコミュニケーションツールであることを改めて実感しました。この経験は、今後の学びや仕事においても大きな財産になると確信しています。

③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

今回の研修を通じて、学習面・精神面の双方において大きな成果を得ることができました。

学習面では、英語力の向上が最も大きな成果です。特に、リスニング力とスピーキング力が飛躍的に伸びたと感じています。英語を日本語に翻訳してから話すのではなく、英語で直接考え、表現する習慣が身についたことは、今後の学習や仕事に直結する力だと思います。また、専門的なテーマを英語で議論する経験を通じて、学問的な場面でも英語を使いこなす自信が得られました。

精神面では、「間違いを恐れず発言する勇氣」と「積極的に挑戦する姿勢」が培われました。研修前は自分の英語力に不安を抱いていましたが、ホストファミリーや現地学生との交流を重ねるうちに、自分の考えを共有することの大切さを学びました。この経験は語学力にとどまらず、人との関わりや将来の社会生活においても大いに活かせると感じています。

④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

今回の研修を通じて気づいたことの一つは、「積極的に行動することの大切さ」です。

授業やプロジェクトワークではもちろん、日常生活の中でも自ら声をかけたり質問したりすることで、学びの幅が大きく広がりました。最初は英語で話すことに不安を感じるかもしれませんが、間違いを恐れずに挑戦することで確実に力がつき、自信も育ちます。また、ホストファミリーや現地学生は、拙い表現であっても誠実に耳を傾けてくれるため、安心して交流できる環境が整っています。そのため、ぜひ積極的に話しかけ、日常の一コマ一コマを学びの機会に変えてほしいと思います。

さらに、仲間とのつながりも大きな財産となります。同じ目標を持って参加する仲間とは、授業や議論だけでなく、放課後や休日の時間を共に過ごすことで深い絆を築くことができます。こうした人間関係は研修後も続き、自分の世界を広げてくれる大切な存在になるはずです。

これから参加される方には、語学の習得だけでなく、異文化交流や人との出会いを通じて、自分自身の可能性を広げる体験になることをお伝えしたいです。

国際センターのHPに掲載してもよい写真があれば添付してください。キャプションもつけてください。



写真1 St Mary's Church



写真2 Radcliffe Camera



写真3 St Hilda's Collegeの教室



写真4 St Hilda's Collegeの食堂



写真5 St Hilda's Collegeの食堂(内部)



写真6 昼食の一例



写真7 放課後のアクティビティとして訪れたChrist Church



写真8 放課後のアクティビティでの紅茶とスコーン